

## 指導上の留意点（帯活動の展開案に係る共通事項）

### ①Interactive Teacher Talk

#### ●話題の提供

- ・本時の話題について、教師が自分の考えや経験について生徒とやり取りをする。
- ・一部の生徒とのやり取りに留まらず、学級全体に問いかける質問もし、全体を巻き込む。

#### ●語彙への意識付け

- ・「教師の発話例」にアンダーラインが付されている単語は、意味や使い方に気付かせるよう、繰り返したり、強調したりなどする。

#### ●正確さ及び適切さに関する指導

- ・やり取りの継続を重視する。単語のみや不正確な発話は、やり取りの流れを止めないよう、教師が適切又は正確な英語で言い直して生徒に返す。

（例：教師：What sport do you like?→生徒：tennis.→教師：You like tennis. Me, too.）

### ②S-S Interaction 1

以下のいずれかを計画的に行う。（毎時間全てを行う必要はない）

#### ●聞き手のモデル

- ・教師自身も対話に加わり、楽しい雰囲気づくりに貢献する。
- ・対話に加わりながら、発話を繰り返したり、感想を返したりなどしてよい聞き手のモデルとなる。

#### ●取組状況の確認

- ・他の生徒に広めたいやり取りをされると思われる生徒のもとへ行き、やり取りの様子を確認する。  
（後の sharing time で取り上げるため）
- ・活動が非常に停滞することが予想される生徒のもとへ行き支援する。

### ③Sharing

以下のいずれかを計画的に行う。（毎時間全てを行う必要はない）

#### ●キーワード等の使用

- ・使用させたい言語材料を使用できたかどうかを確認する。  
（例：What is a first question?（出だしの質問の確認））

#### ●パラフレーズ（既習表現の想起）

- ・英語で何と云えばよいか分からず困ったことを聞き出し、既習表現でどのように言い換えるとよいかを全員に考えさせる。

#### ●対話の継続

- ・反応の言葉（Me, too. I think so, too.など）や関連した質問など、対話を継続させるために必要な英語の使用を促したり、使用していた生徒を紹介して広めたりする。

### ④S-S Interaction 2

#### ●変容の確認

- ・ただし、すぐにできるようなにはならないということに留意し、長いスパンで指導したり見届けたりしていこうという意識をもつ。
- ・S-S Interaction 2 終了後は、例えば1～2名の生徒と楽しく対話するなど、明るい雰囲気 Small Talk の時間を終える。